

1 千葉県生涯大学について

- ・ 高齢者へ学習の機会を提供し、生きがい・健康・仲間づくりの支援や、地域活動の担い手育成に資することを目的とする県の公の施設。
- ・ 県内5学園（京葉、東葛飾、東総、外房、南房）、11教室で運営。



○現在の設置学部・コース

名称		学習内容	定員等	授業料
健康・生活学部		健康づくりやボランティア活動、地域生活に役立つ知識・技能	730 人 × 2 学年	16,400 円/ 年
造 形 学 部	園芸まちづくり コース	園芸に関する知識・技能	350 人 × 2 学年	33,300 円/ 年
	陶芸コース	陶芸に関する知識・技能	180 人 × 1 学年	59,200 円/ 年
地域活動専攻科		地域活動の指導者としての知識等	100 人 × 1 学年	16,400 円/ 年

※総定員 2,440 人、入学時定員 1,360 人

※陶芸コースのみ週 2 日、他は週 1 日

※地域活動専攻科は、京葉学園及び東葛飾学園のみ

千葉県生涯高等学校の次期マスタープランについて

2 生涯高等学校マスタープランについて

- 千葉県生涯高等学校については、設置管理条例・規則に加え、平成24年度からは、高齢者を取り巻く環境の変化を踏まえ、施設の果たすべき役割や課題、改革の方向性などを明らかにするため、「千葉県生涯高等学校マスタープラン」を策定。
- 現在の第2次プランは令和5年度までだが、来年度は次期指定管理者の公募を予定しているため、これに先立ち、今年度内に次期プランを策定する予定。

3 現状と課題について

(1) 健康・生活学部

第1次プランにおいて、ボランティア・地域活動の担い手育成を目的に設置（当時は地域活動学部）したが、定員充足率が低く、役割を十分に果たせていない。

入学年度	H30	R1	R2
入学者数（定員充足率）	555人（76%）	526人（72%）	565人（77%）

(2) 造形学部（園芸まちづくりコース、陶芸コース）

マスタープラン策定以前からの歴史があり、学生の人気は高いが、趣味的要素が強く、地域活動に繋がりにくい。

○卒業生（H29～R1）へのアンケート結果

生大での学びを通じ得られたもの、役だったことは何ですか？		健康・生活学部	造形学部	
			園芸まちづくりコース	陶芸コース
(回答)	地域活動・ボランティア活動につながった	33.9%	8.9%	22.8%
	技術の習得や施設での体験	38.5%	72.4%	80.3%
	ボランティアに役立つ知識の習得	43.8%	9.7%	25.2%

4 第3次千葉県生涯高等学校マスタープランの策定について（検討案）

（1）基本的な考え方

- ・ 今後の超高齢社会において、高齢者を一律に「支えられる側」としてとらえるのではなく、「支える側」としても活躍できるよう、“地域共生社会”の実現に向け、高齢者自身が地域で役割を持つことが重要であることを明記。
- ・ 生涯高等学校の役割として、現プランで掲げる内容を維持しつつ、「地域活動の担い手育成」に特に重点を置くことを明確化。

（2）学習カリキュラムについて

- 全ての学部・コースにおいて、卒業後の地域活動や学生の健康づくりなどにつながるものとする。
⇒ 従来の「縦割り」の学部・コース構成に対し、地域活動や健康づくりなど、全ての学生が学ぶ共通の課程を設ける。
- 学生の能力や意欲、様々な得意分野を活かした形での社会参加に繋がることを目指し、学習内容の見直しを図る。
⇒ 現在の「健康・生活学部」の内容を見直し、これまでの地域福祉分野に加え、観光・歴史・自然環境保全等の分野に係る学習内容を新たに取り入れる。

（3）今後の予定

～令和4年12月頃 関係者からの意見聴取、老人福祉専門分科会での検討

～令和5年1月頃 パブリックコメント

令和5年2～3月 設置管理条例の改正（令和5年2月定例県議会）

3月 第3次マスタープランの策定